



2024年3月期 第2四半期決算説明会

代表取締役 社長 鈴木 俊宏

2023年11月7日 スズキ株式会社

上期決算 サマリー



2024年3月期 第2四半期決算

- 上期(4~9月期)総括
 - ▶売上高、営業利益、経常利益 …上期として過去最高
 - ・為替円安の追い風
 - ・原材料価格の落ち着き

+

- ・半導体不足を克服、生産正常化を維持
- ・価格改定含む売上構成変化等の改善

- 第2四半期(7~9月期)総括
 - ▶7~9月期の営業利益は1,297億円 …4~6月期に比べ約300億円の増益

台数増加、売上構成変化等の改善

品質改善の取組み(品質関連費用の削減)



カバー

将来への種まき(成長投資)を加速(研究開発費・減価償却費の増)

- ・「現場・現物・現実」の行動理念のもと、様々な取組みについてしっかりマネジメント
- ・設備投資や研究開発費など成長投資を加速するなかでも収益を拡大
- 一過性に終わらせることなく、今後も継続

通期予想サマリー



2024年3月期通期予想

- 上期実績および下期計画のアップデートを踏まえ、上方修正を実施
- 営業利益は過去最高の4,300億円を見込む(これまでの過去最高は18/3期の3,742億円)
- 主な前提
 - ▶ 販売台数:各市場の状況、先行きの不透明さを織り込み済み
 - ▶ 研究開発費や固定費
 - ・上期 …業務推進を最優先に費用を織り込んだものの、 計画を若干下回った(計画に対し悪い増益)
 - ・下期 …引き続き業務推進を最優先に費用を織り込んだ
 - ・社内でのPDCAを強化し、
 - ・業務計画の進捗をきめ細やかにフォロー



将来への種まき(成長投資)を 着実に実施

- 主なリスク
 - ▶ ウクライナ情勢に加え、パレスチナ情勢が深刻化。世界情勢の不安定さ増す



株主還元

・株主還元は、重要な経営課題の一つであり、 継続的かつ安定的な配当を方針とし、総還元性向の向上を検討していく

- ■配当
 - ・中間配当は1株当り55円(前期の中間配当50円から+5円増配)
- 自己株式取得
 - ・上期に200億円(還元性向8.3%)を実施



2024年3月期 第2四半期決算説明会

取締役 専務役員 渉外担当 長尾 正彦

2024年3月期 第2四半期決算	$(6\sim 15)$
総括	6
四半期推移	7
営業利益増減要因	8
事業別セグメント	9
四輪台数実績	····· 10~14
二輪台数実績	15
通期業績予想	···· (16~20)
総括	16
営業利益増減要因	····· 17~18
四輪・二輪台数情報	····· 19~20

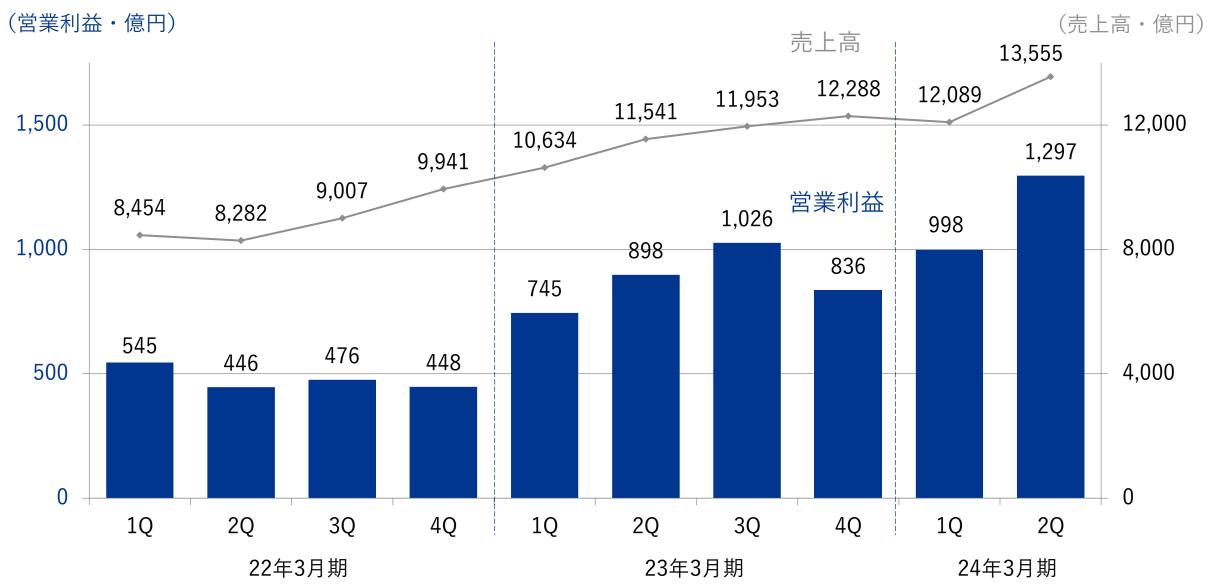
2024年3月期 第2四半期決算|総括



	(億円)	当第2四半期 ('23/4-9)	前年同期 ('22/4-9)	増	減 増減率	· 補足 ^{※1}
	売 上 高	25,644	22,175	+ 3,469	+15.6%	過去最高、3期連続増収
☆	営業利益 (利益率)	2,295 (8.9%)	1,643 (7.4%)	+651	+ 39.6%	過去最高、3期連続増益
連結業績	経常利益 (利益率)	2,410 (9.4%)	1,923 (8.7%)	+ 486	+ 25.3%	過去最高、3期連続増益
	四半期純利益 ^{※2} (利益率)	1,293 (5.0%)	1,151 (5.2%)	+142	+12.4%	過去2位、3期連続増益
	(竹)	(3.070)	(3.2 /0)			
為替	米ドル	141円	134円	+7円	+5.2%	
	ユーロ	153円	139円	+15円	+10.6%	
レート	インドルピー	1.72円	1.72円	-	_	
世界	四輪車	1,535千台	1,463千台	+72千台	+4.9%	
販売	二輪車	958千台	966千台	▲8千台	▲0.8%	
配当	一株当たり 中間配当金	55円	50円	+5円		中間配当として過去最高

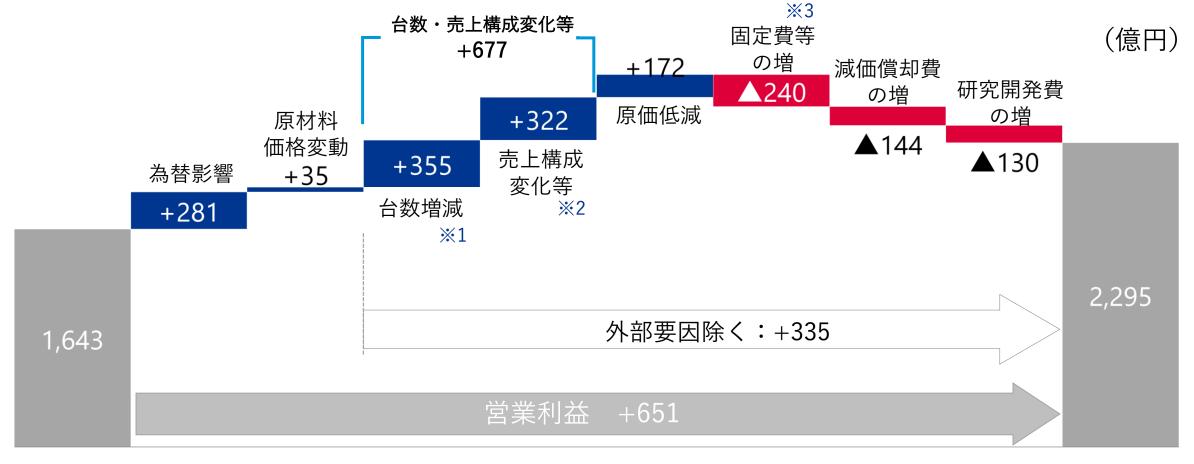
2024年3月期 第2四半期決算|四半期毎の業績





2024年3月期 第2四半期決算 | 営業利益増減要因:6ヵ月累計(4-9月期)





前年同期 営業利益

'22/4-9

※1 台数増減影響 主な内訳

- · 当社単独 + 260億円
- ・マルチスズキ + 82億円

※2 売上構成変化等 主な内訳

・マルチスズキ + 226億円

+134億円

・当社単独

※3 固定費等の増 主な内訳

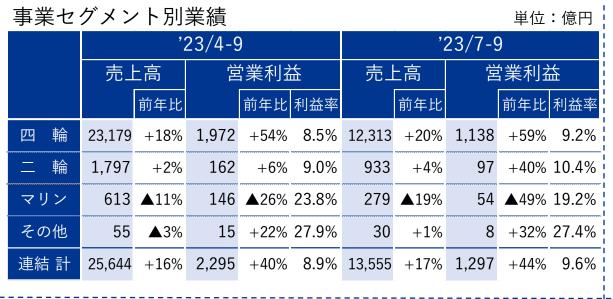
- ・労務費
- 費 ▲157億円
- ・営業政策費
- ▲ 31億円
- ・品質関連費用 + 58億円

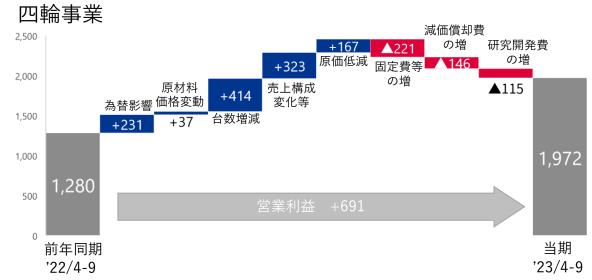
当期 営業利益

'23/4-9

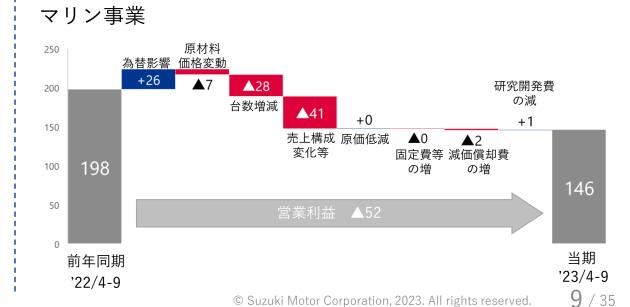
2024年3月期 第2四半期決算 | 事業別業績





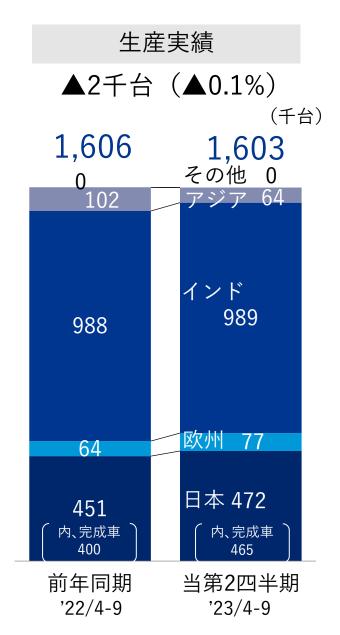


二輪事業 250 原材料 減価償却費 研究開発費 +4 200 価格変動 の減 の増 原価低減 +39 ▲30 **▲**17 +1 **▲**17 150 固定費等 台数增減 売上構成 の増 変化等 100 162 153 50 当期 前年同期 '22/4-9 '23/4-9



四輪台数実績|グローバル







● 当期の世界販売

(千台)	台数	前年同期比		
世界販売	1,535	+72	+4.9%	
日本	313	+29	+10.2%	
欧州	112	+38	+50.6%	
インド	889	+75	+9.2%	
アジア(除インド)	86	▲ 51	▲ 37.0%	
インドネシア	38	4	▲ 9.5%	
パキスタン	18	▲39	▲ 68.0%	
タイ	6	A 3	▲ 34.2%	
その他	23	4	▲ 15.0%	
その他	136	▲ 19	▲12.2%	

四輪販売台数|日本



第2四半期実績



'22/4-9

'23/4-9

● モデルミックスが改善

- ・8月以降、半導体不足の影響が解消
- ・それに伴い、全体の生産・販売台数の増加に加え、比較的高価格帯の モデルの生産販売が増加

7-9月期 販売	台数	<前年同	別期比>	<前四半期比>		
(千台)	当7-9月期	前7-9	月期比	当4-6	月期比	
軽自動車	136	124	+12	121	+15	
スペーシア	30	24	+6	27	+3	
ハスラー	24	17	+8	16	+8	
その他	82	84	_ 2	78	+3	
登録車	28	26	+2	27	+1	





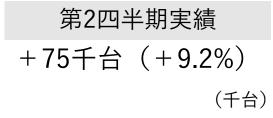


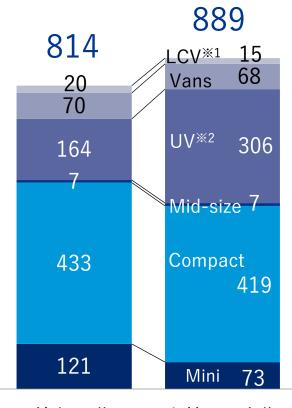
● 価格改定

- ・今期より、仕様変更に合わせ価格改定を実施
- ・仕様・装備の充実によるコストアップ分に加え、原材料価格高騰分を反映

四輪販売台数|インド



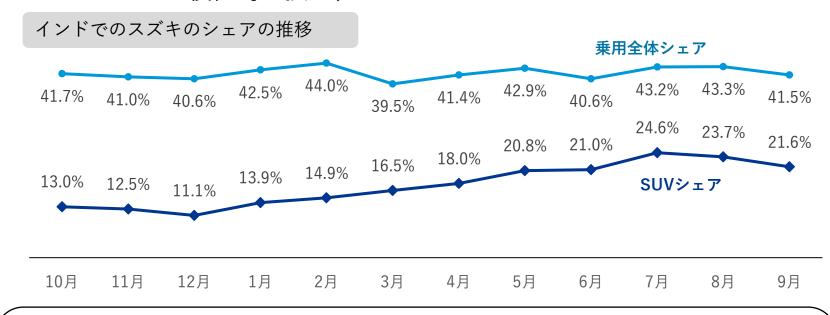




前年同期 当第2四半期 '22/4-9 '23/4-9

● 当期のインド販売

・SUVモデルを積極的に投入、SUVセグメントでシェアトップ



インド四輪事業のトピックス等につきましては、2023年10月24日に実施いたしましたJMS(ジャパン モビリティ ショー)のカンファレンス資料に詳細がございます。

資料のリンク

- ・<u>Japan Mobility Conference 2023 インド市場の現状とスズキの展望</u>
- ・<u>Japan Mobility Conference 2023 インド市場の現状とスズキの展望(スクリプト付き)</u>

注. 左側グラフは商用車含む卸販売実績、OEMを除く ※1 LCV=Light Commercial Vehicles ※2 UV=Utility Vehicles

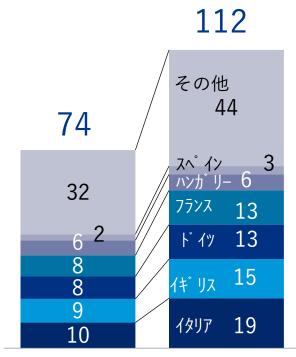
四輪販売台数 | 欧州 / アジア (インド除く)





+38千台(+50.6%)

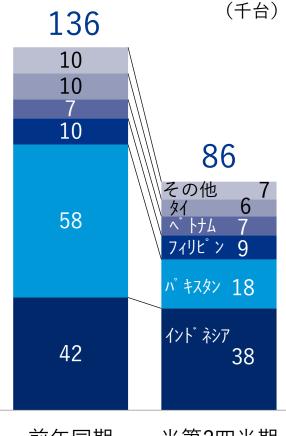
(千台)



前年同期 当第2四半期 '22/4-9 '23/4-9

アジア (インド除く)

▲51千台(▲37.0%)



前年同期 当第2四半期 '22/4-9 '23/4-9

● 欧州トピックス

・日本生産車の供給が回復

生産拠点別販売台数(千台)



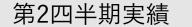
● アジアトピックス

・パキスタンでは、部品輸入規制の緩和に伴い、 少量生産ながらも安定した操業に努める



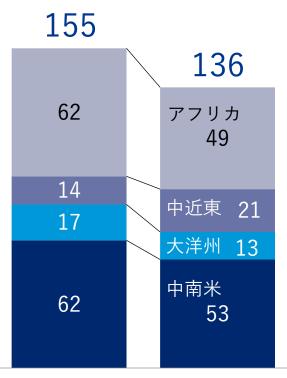
四輪販売台数|その他地域





▲19千台 (▲12.2%)

(千台)



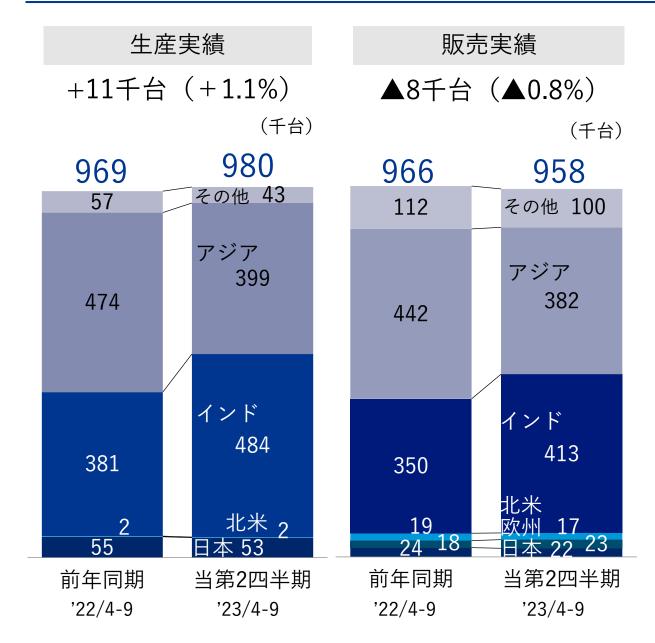
前年同期 当第2四半期 '22/4-9 '23/4-9

● 当期の販売

(千台)	台数	前年同期	朝比
アフリカ	49	▲13	▲20.4%
南アフリカ	25	1	▲ 4.0%
アンゴラ	6	+2	+67.8%
コートジボワール	6	+1	+15.8%
エジプト	3	▲ 7	▲ 69.2%
エチオピア	2	1 6	▲ 73.5%
中近東	21	+7	+52.3%
サウジアラビア	10	+5	+113.7%
大洋州	13	4	▲23.2%
オーストラリア	9	▲3	▲ 27.0%
中南米	53	▲9	▲ 15.0%
メキシコ	18	▲3	▲ 15.0%
チリ	8	▲2	▲ 15.9%
コロンビア	5	\$ 6	▲ 57.4%

二輪台数実績|グローバル





● 当期の世界販売

(千台)	台数	前年同期比		
世界販売	958	▲ 8	▲0.8%	
 日本	22	A 2	▲9.9%	
欧州	23	+6	+31.4%	
北米	17	^ 2	▲10.9%	
インド	413	+62	+17.8%	
アジア(除インド)	382	▲ 59	▲13.4%	
中国	229	▲16	▲ 6.7%	
フィリピン	80	▲ 19	▲ 19.1%	
その他	74	▲ 24	▲ 24.6%	
その他	100	▲ 12	▲10.8%	
中南米	91	▲ 11	▲10.4%	
その他	9	▲2	▲ 14.5%	

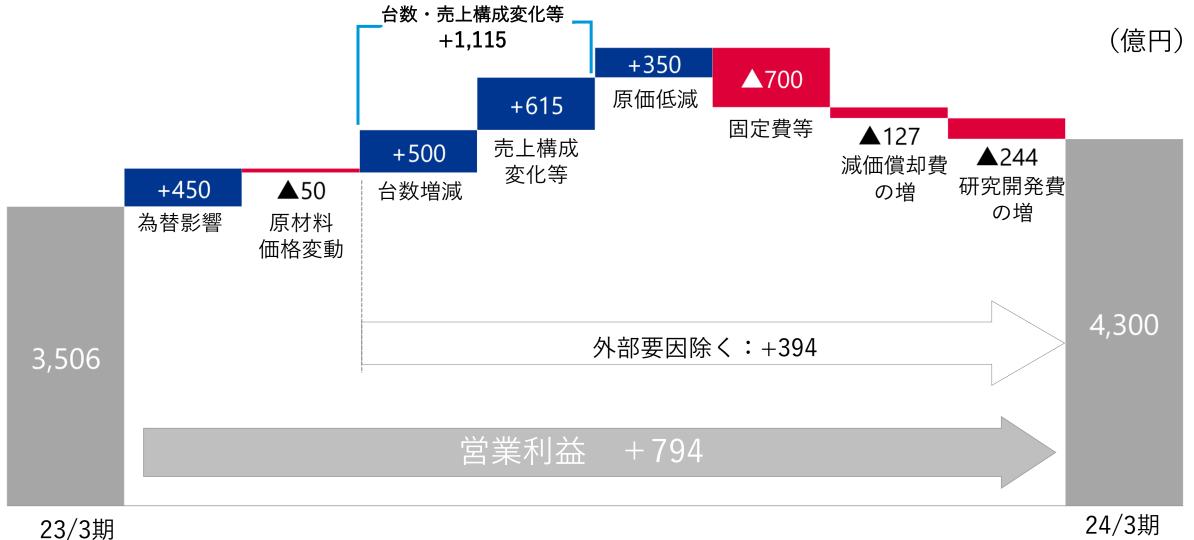
通期業績予想|総括



	(億円)	当期	前期	増え	咸	诺 只	前回予想(8月	月時点)との比較
	(思门)	('23/4-'24/3)	('22/4-'23/3)		増減率	補足	前回予想	増減
	売上高	52,000	46,416	+ 5,584	+12.0%	過去最高 3期連続増収	50,00	+ 2,000
	営業利益	4,300	3,506	+ 794	+22.7%	過去最高	3,60	+700
連結	(利益率)	(8.3%)	(7.6%)	1 1 3 4	1 22.1 /0	2期連続増益	(7.2%	5)
業績	経常利益	4,500	3,828	+672	+17.6%	過去最高	3,70	0 +800
	(利益率)	(8.7%)	(8.2%)	1012	117.070	4期連続増益	(7.4%	5)
	当期純利益 [※]	2,400	2,211	+ 189	+8.5%	過去最高	2,10	0 + 300
	(利益率)	(4.6%)	(4.8%)	1 103	1 0.3 /0	4期連続増益	(4.2%	5)
為替	米ドル	141円	136円	+5円	+4.0%		134F	9 + 7円
	ユーロ	152円	141円	+11円	+7.8%		148F	円 +4円
レート	インドルピー	1.72円	1.70円	+0.02円	+1.2%		1.64	+ 0.08円
世界	四輪車	3,188千台	3,000千台	+188千台	+6.3%		3,181千	台 +7千台
販売	二輪車	1,880千台	1,867千台	+12千台	+0.7%		1,919千	★39千台
配当	一株当たり 年間配当金	-	100円	_	_	_	100円以_	L –

通期業績予想|営業利益増減要因・対 23/3期 実績





23/3期 営業利益 '22/4-'23/3 24/3期 通期予想 '23/4-'24/3

通期業績予想|営業利益増減要因・対 前回予想

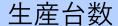




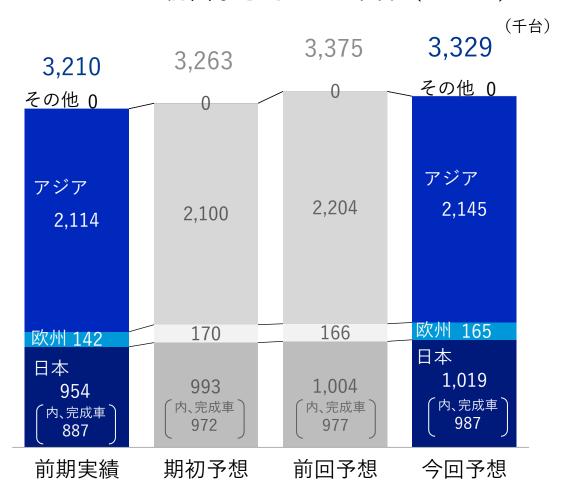
24/3期 営業利益 前回予想 '23/4-'24/3 24/3期 営業利益 今回予想 '23/4-'24/3

通期業績予想|四輪生産台数・販売台数





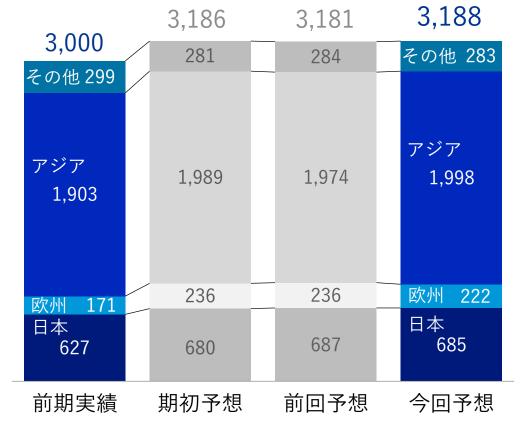
3,329千台 前期比 +119千台 (+3.7%) 前回予想比 ▲46千台 (▲1.4%)



販売台数

3,188千台 前期比 +188千台 (+6.3%) 前回予想比 +7千台 (+0.2%)

(千台)

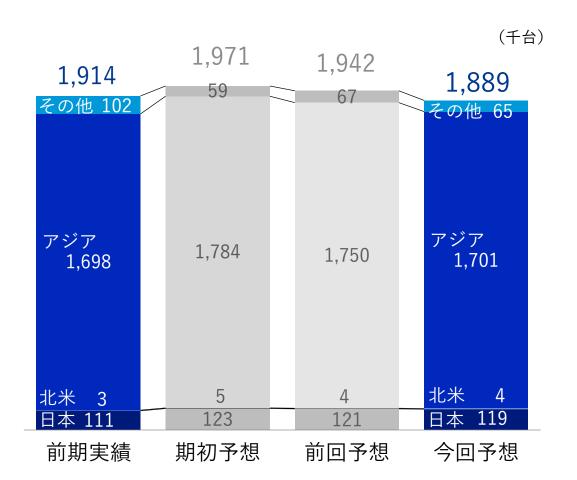


通期業績予想|二輪生産台数・販売台数



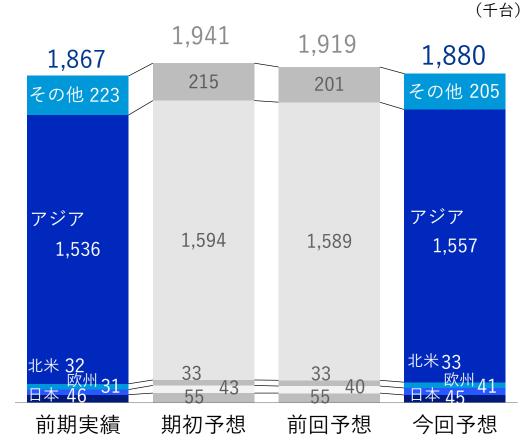
生產台数

1,889千台 前期比 ▲25千台 (▲1.3%) 前回予想比 ▲53千台 (▲2.7%)



販売台数

1,880千台 前期比 +12千台 (+0.7%) 前回予想比 ▲39千台 (▲2.0%)





補足資料

2024年3月期 第2四半期決算|売上高の状況

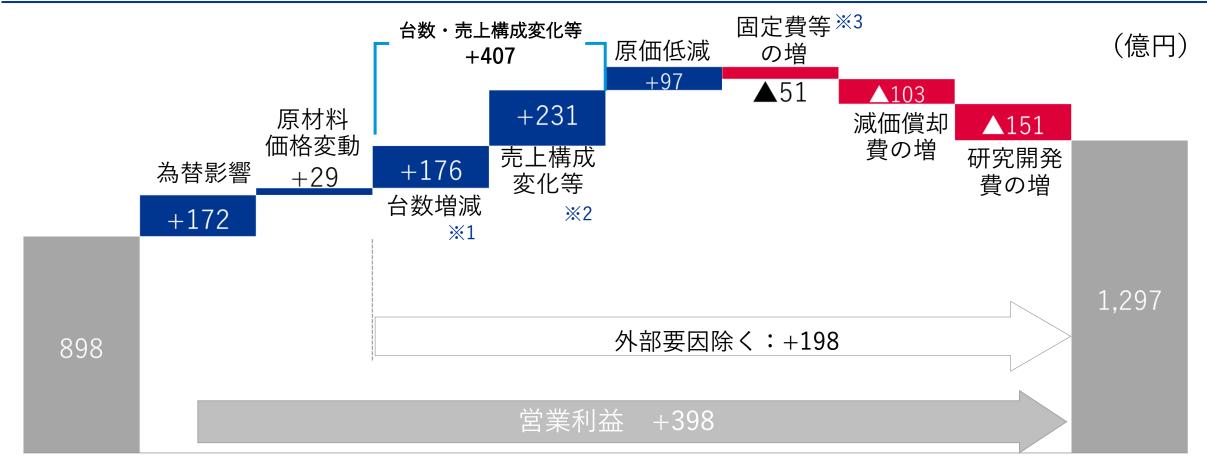


(/辛四)			四輪			二輪		7	マリン	/	2	その他]		合 計		増減口	为訳
	(億円)	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	為替影響	台数増減
国	内計	5,940	5,395	+ 545	110	132	▲ 21	19	19	+0	55	57	_ 2	6,124	5,602	+522		+ 548
	自 社	5,445	4,965	+480	110	132	▲ 21	19	19	+ 0	55	57	_ 2	5,629	5,172	+457		
	OEM	495	430	+ 65										495	430	+ 65	•	
海	外計	17,239	14,276	+2,963	1,687	1,627	+59	595	669	▲ 75				19,520	16,573	+2,947	+ 425	+982
	欧州	2,898	1,683	+1,215	248	207	+40	99	132	▲33				3,246	2,023	+1,223	+ 305	+1,037
	北米	3	3	1	231	265	▲ 34	325	387	▲ 62		-		559	655	▲ 96	+ 25	▲ 66
	アジア	11,611	10,087	+1,524	895	855	+40	68	52	+17		-		12,574	10,994	+1,580	▲39	+ 155
	インド	10,239	8,227	+2,012	569	445	+ 123	4	4	+0		-		10,812	8,676	+2,136	•	+721
	ル以外	1,371	1,860	▲ 488	326	410	▲ 83	64	48	+16				1,762	2,318	▲ 555	▲39	▲ 566
	その他	2,727	2,503	+224	313	300	+12	102	99	+3				3,142	2,902	+240	+133	▲ 144
_	総合計	23,179	19,671	+3,508	1,797	1,759	+38	613	688	▲ 75	55	57	_ 2	25,644	22,175	+3,469	+ 425	+1,529
P	力、為替換	算影響		+350			+49			+25						+425	•	

注. 当期…2023年4~9月期、前期…2022年4~9月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

2024年3月期 第2四半期決算|営業利益増減要因:3ヵ月(7-9月期)





前年同期 営業利益 '22/7-9

※1 台数増減影響 主な内訳

- · 当社単独 + 128億円
- ・マルチスズキ + 48億円

※2 売上構成変化等 主な内訳

- · 当社単独 + 114億円
- ・マルチスズキ + 95億円

※3 固定費等の増 主な内訳

- ・労務費
- ·営業政策費 ▲ 17億円
- ・品質関連費用 + 71億円

当期 営業利益 '23/7-9

▲ 72億円

2024年3月期 第2四半期決算|為替レート



	当第2四半期	前年同期	前年同]期比	営業利益 為替影響		
	('23/4-9)	('22/4-9)	増減		感応度※2	影響額	
ユーロ	153円	139円	+15円	+10.6%	+12億円	+132億円	
メキシコペソ	8.13円	6.66円	+1.47円	+22.1%	+4億円	+96億円	
ポンド	178円	163円	+15円	+9.0%	+4億円	+40億円	
米ドル	141円	134円	+7円	+5.2%	+7億円	+37億円	
インドルピー	1.72円	1.72円	_	-	+19億円	_	
南アフリカランド	7.56円	8.23円	▲0.67円	▲8.1%	+2億円	▲20億円	
パキスタンルピー	0.49円	0.65円	▲0.16円	▲ 24.6%	+1億円	▲24億円	
その他※1	_	_	_	_	+7億円	+21億円	
	営	業利益為替影響	額合計		+58億円	+281億円	

^{※1} その他…影響額+21億円のうち、ポーランドズロチ+13億円、インドネシアルピア+5億円ほか

^{※2} 感応度…各通貨のレートが前第2四半期から 1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

2024年3月期 第2四半期決算 | 設備投資等

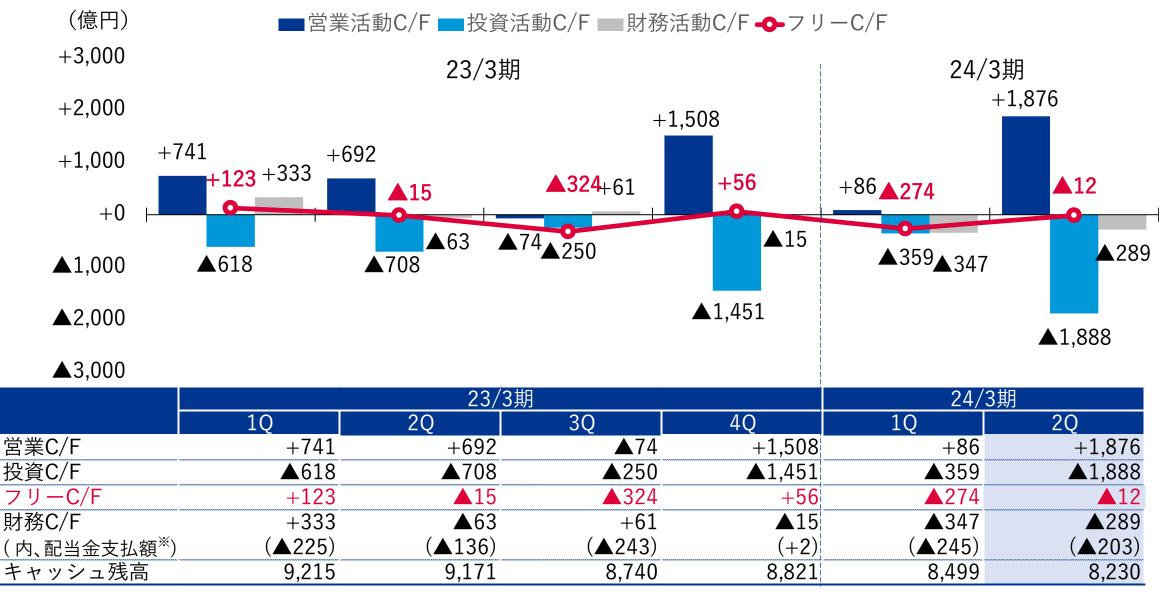


		当期 ('23/4-9)	前年同期 ('22/4-9)	増減
	当社単独	290億円	329億円	▲39億円
	子会社	1,058億円	988億円	+69億円
設備	請投資	1,347億円	1,317億円	+30億円
減価償却費		925億円	781億円	+144億円
研究開発費		1,084億円	954億円	+130億円

	当期末	前年同	司期	前期末	比較
	('23/9末)	('22/9末)	増減	('23/3末)	増減
有利子負債残高	7,672億円	7,441億円	+231億円	7,638億円	+34億円
連結子会社数	118社	119社	▲1社	120社	▲2社
持分法適用関連会社数	31社	32社	▲1社	32社	▲1社
従業員数	72,444人	70,746人	+1,698人	70,012人	+2,432人

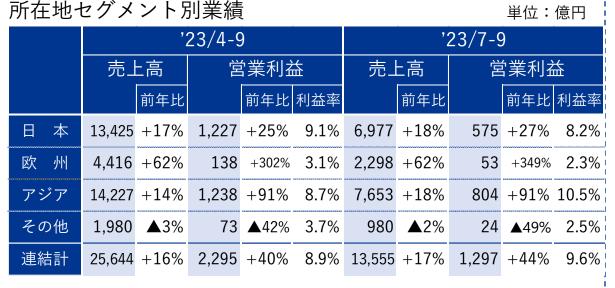
2024年3月期 第2四半期決算|キャッシュフロー四半期推移

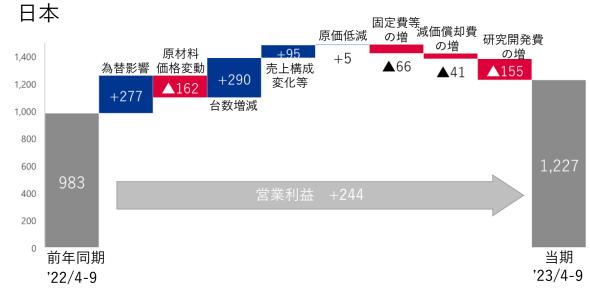


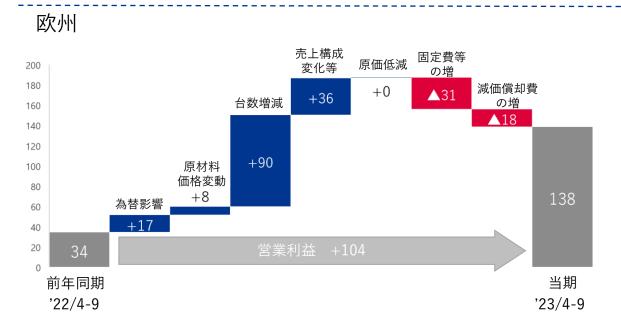


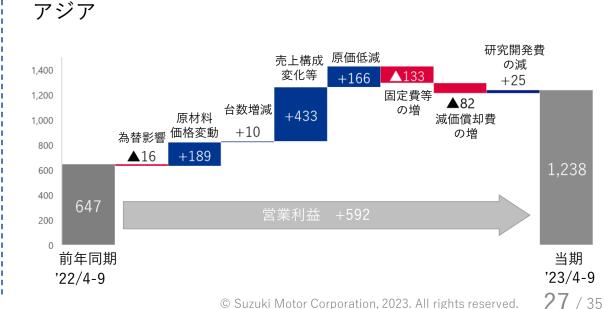
2024年3月期 第2四半期決算 | 所在地別業績











2024年3月期 第2四半期決算|マルチ・スズキ・インディア社の業績



		ルピー	·建(億ルピー	-) ^{※1}	円	換算額(億円)
		当第2四半期	前年同期	増減	当第2四半期	前年同期	増減
	売上高	6,639	5,383	+1,255	11,418	9,260	+ 2,159
\	営業利益 ^{※2}	623	331	+ 292	1,072	569	+ 503
連	(利益率)	(9.4%)	(6.1%)	1 232	(9.4%)	(6.1%)	1 303
結	税前利益	808	403	+ 405	1,390	692	+ 697
業	(利益率)	(12.2%)	(7.5%)	T 403	(12.2%)	(7.5%)	+ 097
績	税後利益	629	315	+ 314	1,082	542	+ 540
120	(利益率)	(9.5%)	(5.8%)	+ 314	(9.5%)	(5.8%)	+ 340
	為替レート	1.72円	1.72円	-			
卸	国内販売 ^{※3}	918千台	853千台	+65千台			
販	輸出 ^{※3}	133千台	133千台	▲0千台			

+65千台

1,050千台

985千台

^{※1.} ルピー建は、10月27日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

^{※2.} 営業利益は次式により算出 営業利益 = Sales of product + Other operating revenues - Total Expenses + Finance costs

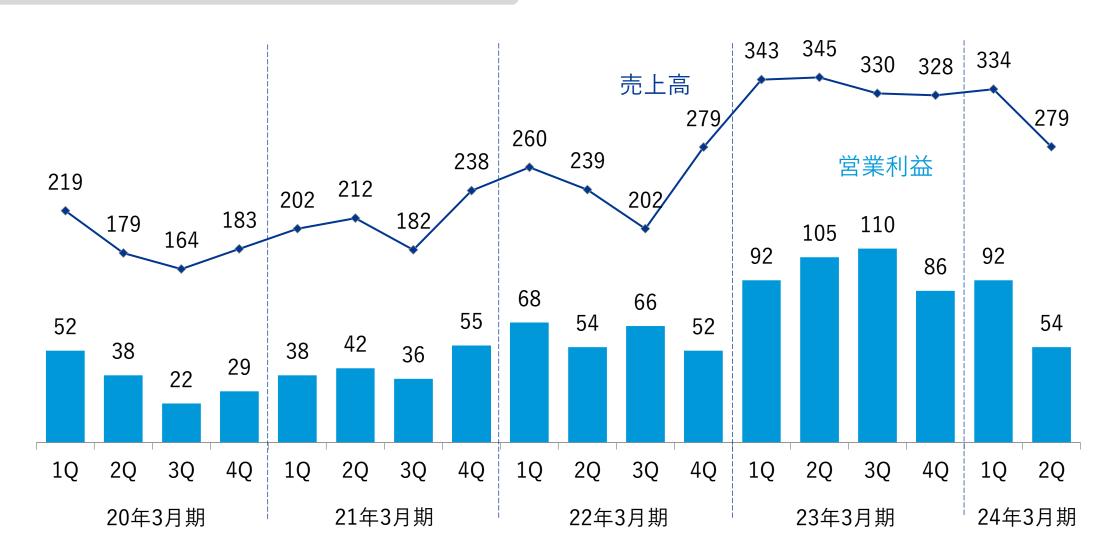
^{※3.} 国内販売および輸出はOEMを含む

注. マルチ・スズキ・インディア社はIndAS(インド版IFRS)に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値

マリン|連結業績



マリン事業 売上高・営業利益推移 (億円)



通期業績予想|為替レート



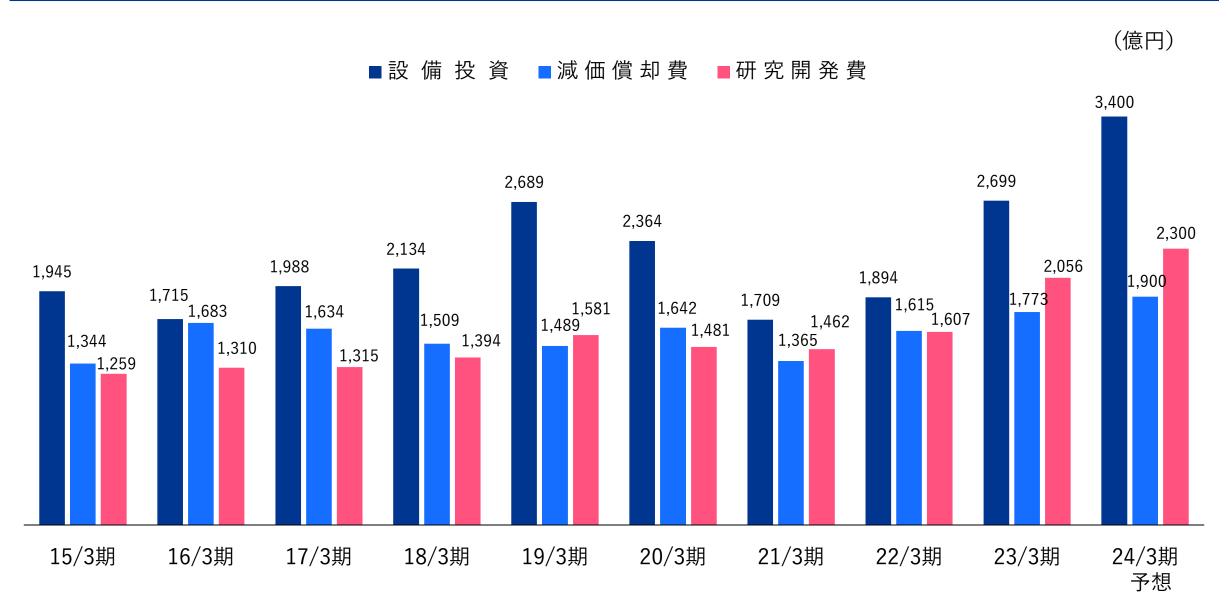
	通期予想			前期	前期実績比		営業利益 為替影響	
		今回 下期前提	前回 通期予想	実績	増減		感応度 **2	影響額
ユーロ	152円	150円	148円	141円	+11円	+7.6%	+25億円	+188億円
メキシコペソ	8.10円	8.06円	7.57円	6.91円	+1.19円	+17.1%	+9億円	+158億円
ポンド	175円	173円	171円	163円	+12円	+7.4%	+8億円	+61億円
米ドル	141円	141円	134円	136円	+5円	+4.0%	+13億円	+52億円
インドルピー	1.72円	1.71円	1.64円	1.70円	+0.02円	+0.9%	+36億円	+31億円
南アフリカランド	7.48円	7.40円	7.17円	7.99円	▲0.51円	▲ 6.4%	+5億円	▲33億円
パキスタンルピー	0.49円	0.49円	0.48円	0.61円	▲0.12円	▲ 19.7%	+2億円	▲47億円
その他 ※1							+14億円	+40億円
営業利益為替影響額 合計							+113億円	+450億円

^{※1} その他…影響額 + 40億円のうち、ポーランドズロチ + 22億円、インドネシアルピア + 8億円 ほか

^{※2} 感応度…各通貨のレートが前期実績から 1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

通期業績予想|設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

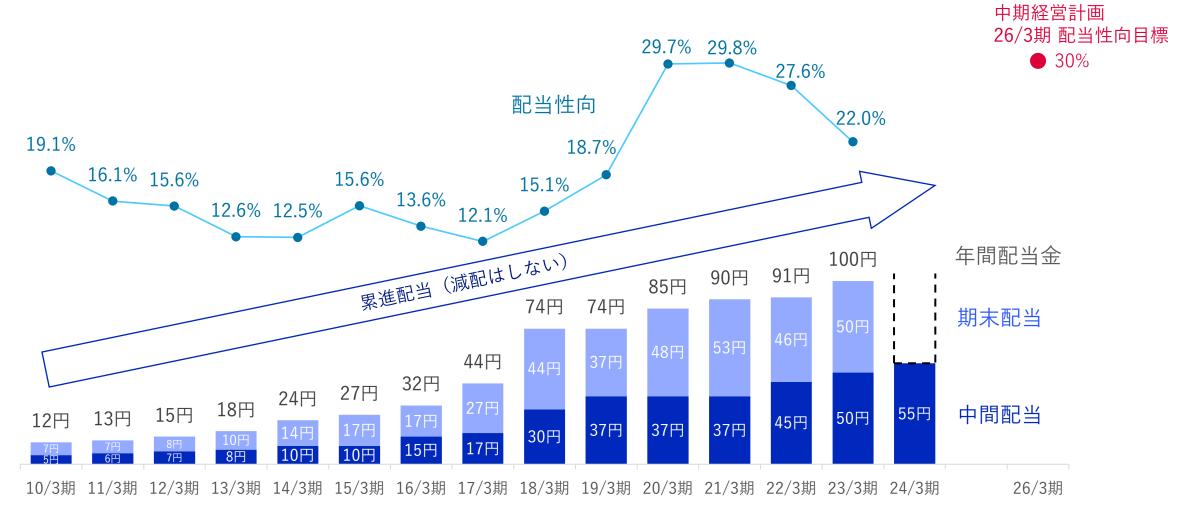




株主還元|一株当たり配当金



中間配当 中間配当 55円(前期比5円増配):過去最高額 自己株式 200億円(3,768千株)を取得(還元性向8.3%相当)



「統合報告書2023」「サステナビリティレポート2023」を発行



■ 11月に、「統合報告書2023」「サステナビリティレポート2023」を発行





https://www.suzuki.co.jp/ir/library/annualreport/pdf/2023/2023 jp.pdf

https://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2023/pdf/2023 envj all.pdf





JAPAN MOBILITY SHOW 2023













将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、 現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実 性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。